

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生看護学方法論XI （地域ケアシステム）	4年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	篠田 浩子 ※
授 業 概 要					
<p>地域にある様々なグループや組織または機関が、地域の健康課題の解決に向けて、互いに連携・協働する地域ケアシステムの構築及びネットワークについて学ぶ。</p> <p>また、保健医療福祉の専門職、地域住民、教育機関、産業機関など、多様な機関・職種との連携会議について学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<p>1. 地域ケアシステムの定義・理念、目的、発展過程を説明する。</p> <p>2. 地域ケアシステムの構築、ネットワーク化の方法を述べる。</p> <p>3. 地域ケアシステムの要素の1つである連携会議の企画、運営について述べる。</p> <p>4. 既習の知識を事例に応用し地域ケアシステムの実際を理解する。</p>					
実務経験のある教員					
篠田 浩子：市町村での現場経験を踏まえて、様々なグループ・組織、機関が連携・協働する地域ケアシステムの構築、ネットワーク化について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-4	<p>1. 地域ケアシステムの概念 定義、理念、目的、発展過程</p> <p>2. 地域ケアシステムの構築</p> <p>1) システムづくりのプロセス</p> <p>2) 関係職種・機関及び住民との連携・協働とネットワーク化</p> <p>3) 連携会議の企画・運営</p>				篠田 浩子 ※
5-7	<p>3. 演習：連携会議 地域ケアシステムの全体像</p>				
8-15	<p>4. 地域ケアシステムの実際</p> <p>1) 母子・成人・高齢者に対する保健活動を通して行うネットワーク化、地域ケアシステムの構築</p> <p>2) 地域診断、グループ・組織支援を通して行うネットワーク化、地域ケアシステムの構築</p>				
学 習 方 法					
講義 グループワーク 演習					
評 価 方 法					
〔評価方法〕					
科目修了試験					
・ 中間試験 60点、演習 10点、科目修了試験 30点					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書、参 考 書					
〔教科書〕					
公衆衛生看護学 jP 荒賀直子 インターメディカル					
〔参考書〕					
最新公衆衛生看護学総論 宮崎美砂子編 日本看護協会出版会					
最新保健学講座 公衆衛生看護管理論 平野かよ子 メジカルフレンド社					